

背景

[参考] R4 参議院選挙区選挙 投票率：65.1%

○選挙権年齢の引き下げに伴い、平成28年度より新たに18歳になる新有権者に向け、有権者として必要な知識を周知するため小冊子「バースデーレター」を作成している。

事業の概要 〈開始年度：H28～ R4配布実績：1,413通〉

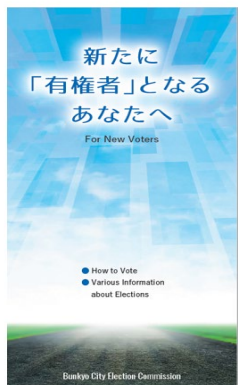
○選挙や投票の意義について考えてもらう機会の一つとしてバースデーレターを送付

- ・選挙人名簿登録（各定時登録月及び選挙時に登録）の際に登録された新有権者に送付
- ・選挙が近い際には、選挙の啓発チラシも同封して送付

【掲載内容】

- ・選挙の種類や10代、20代の投票率、クイズなどの豆知識
- ・投票所の中のレイアウトや投票方法をまとめた動画のQRコード
- ・期日前投票の方法や時間を掲載し、投票日当日以外でも投票可能なことを啓発
- ・一時滞在先や指定施設、国外からの投票など投票所に直接来れない場合でも投票ができる方法
- ・候補者や政党の情報収集の方法
- ・最近多いSNSでの選挙活動について(Q&A形式)
- ・文京区で活動している若年層啓発グループの紹介や応募方法、若年層の立会人募集を掲載（→実際に選挙に関わりたい方を募集）

【▼バースデーレターの表紙・封筒】



【▼バースデーレターの内容】

●選挙の豆知識

なぜ投票に行くべきなのか

日本は皆さん一人一人が決定権(国民主権)を持っている国です。選挙は、私たち国民が政治に参加し、意思を政治に反映させることのできる最も重要な基本的な機会です。現代では、当たり前に行える投票ですが、昔は納税額や性別により制限があり、先人たちが大きな努力と長い歴史により勝ち取った一票です。「自分の一票なんて関係ない」ではなく、一人一人が先人たちの思いを受け継ぎ、意思表示の一票を投じましょう！

10代・20代の投票率について

令和3年 衆議院議員選挙投票率

| 年代 | 投票率 |
|-----|------|
| 10代 | 約45% |
| 20代 | 約55% |
| 全体 | 約65% |

選挙の種類と今後のスケジュール

| 選挙種別 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 |
|-----------|------|------|------|------|
| 衆議院議員(4年) | | | | ○ |
| 参議院議員(6年) | ○ | | | |
| 3年おきに改選 | | | | |
| 都知事(4年) | | | ○ | |
| 都議会議員(4年) | | | | ○ |
| 区長(4年) | | ○ | | |
| 区議会議員(4年) | | | ○ | |

※備考 新任により争奪戦が行われます。選挙の種類によって、記入内容が異なります。(候補者名や政党名、×印等)投票に行く前に確認しておきましょう！

Q 地方の大学に通学し、一人暮らしを始めました。住居を移さなくても、今住んでいる自治体で投票はできるでしょうか？

A できません。選挙人名簿への登録が必要です。登録されるためには、転居先に住民票を移して、3か月経過する必要があります。引越したら、住民票を移しましょう。

Q 9月8日がある選挙の投票日。Aさんは投票日直前の9月8日が18歳の誕生日ですが、実はこの選挙の投票ができるでしょうか？

A 年齢は、「年齢計算ニ関スル法律」で、誕生日の前日に1歳年齢を計算するものとされています。選挙資格は、選挙権日(投票日)現在において有していればよいので、選挙権日の前日が18歳の誕生日であることが場合は、投票ができます。

工夫・注意点

- 手に取ってもらいやすいようなデザインで表紙を作成
- イラストや図を多く使い、読みやすいようなデザインで作成
- 内容はできる限り最新の情報になるよう作成

事業の効果・今後の展開

- 18歳の投票率はどの選挙も若年層の中でも高い投票率を維持できている。
- バースデーレター送付により若年層グループや立会人の募集につながった。
- 20代前半の投票率が低いため20代前半向けの啓発や、受け取った側の効果がわかりにくいためフィードバックをする場の設定が今後の課題である。